

平成 30 年度 事業計画

特定非営利活動(NPO)法人 コミュニティNETひたち

昨年は、NPO法人として15周年を経過しました。現在、県北の人口減少と少子高齢化は一段と進み日立市の高齢者比率は30%を越えました。急速にスマートフォン(スマホ)の普及やインターネットの社会生活への浸透が進んでいます。またAIやIoTなどの応用製品が身近なものになってきています。このような環境の変化に伴って若い世代とシニア世代でデジタル技術の面での格差が増々拡大しています。2020年度からは小学校でプログラミング教育が必修化されます。

本年度の当会の会員数ならびに本来事業のパソコン教室は堅調に維持していく計画ですが、収益事業は大幅に減少の見通しです。その結果、昨年度からの売上減少の傾向は更に進み、収益の確保は大変厳しい状況となっております。そこで次のような課題に取り組んでまいります。

- (1) 「ICTのスキルで地域に貢献」の当NPO法人の設立趣旨への対応が増々重要となってきます。シニア世代の要望や小学校のプログラミング教育の必修化などに対応した具体的な問題点や課題の掘り起こしに取り組んでまいります。
- (2) 進化するパソコン、タブレットやスマホなどの最新技術の習得、新しい応用ソフトウェアや新規機器、設備の導入を図り、地域社会の要請に応えられる体制作りと新規講座の開設に取り組みます。
- (3) 会員の交流拡大と活力に満ちた環境作りを進めます。パソコンやスマホが、今や生活の道具として使われる時代です。会員の皆さんが気軽に集い、進化の激しいそれらの機器の使い方を楽しみながら習得できる、また新たに使い始めたいシニアがいつでも参加できる場を提供してまいります。
- (4) 業務の基本及び社会的なルールを遵守することです。高齢化が一段と進む中、皆さんと共に作業の安全確認、出退勤時の交通事故防止に一段と留意してまいりたいと存じます。

以上を纏めて下記を重点課題といたします。会員の皆さんのご協力と積極的な活動、行事への参加をお願いいたします。

1. 重点方針

- (1) ICTによる地域社会へ貢献する課題の掘り起こしの提案と活動
- (2) 最新ICT技術の習得とスキルの向上による新規講座の開設
- (3) 会員の交流拡大と活力に満ちた環境作り
- (4) 業務の見直し、合理化、省力化と基本の遵守

ICT技術を道具として世代間の情報共有を楽しみとして、「シニアの報酬は、相手の笑顔」、「シニアの生甲斐は、人や地域のお役に立つこと」を堅持しながら、会員へのサービス向上、事務所の環境改善を目指して、清新にして活力に満ちた「NPO法人 コミュニティNETひたち」であり続けてまいりましょう。

2. 事業計画

No	重点方針	具体施策
1	ICTによる地域社会に貢献する積極的な提案と活動	1.計画段階からの協働（カリキュラム見直し・提案など）による県北生涯学習センタ、大子町パソコン講座の講師派遣事業の継続受注 2.多賀地区パソコン教室の着実な運営、保守継続と利用拡大 ・「パソコン友の会」会員拡大継続 3.「ひたちインターネット美術館」の運営継続 ・ホームページ掲載方法のリニューアル ・(株) JWAY殿との協働による作品のテレビ放映継続 ・継続掲載している作者の作品アルバムの制作提供 4.新規ホームページの作成及び書籍の編集、製本事業の積極展開、既設ホームページの運営継続（日立市教育研究会など） 5.ひたちパソコン探検少年団の指導と取り纏め 6.「ある町の高い煙突」映画製作の支援 7.県北フェスティバル等地域行事への積極参加 8.パソコン・スマホの無料相談会の開設などシニア世代への支援強化
2	最新ICT技術の習得、スキルの向上による講座の維持と新規講座の開設への取り組み	1.パソコン・スキルアップ講座による新技術の習得、講師のスキルアップおよび新規講座の講師の育成 2.講師相互の情報共有の推進と能力の向上 3.プログラミング技術の習得とプログラミング講座の講師育成（スクラッチ/VBスクリプト/HTML5 など） 4.パソコン活用による印刷原稿やアルバムの制作と製本講座などの継続（Word/Adobe Photoshop/オンラインデマンド印刷の活用など） 5.「スマートフォンの入門と活用の講座」の継続 6.「パソコン入門講座」の増設
3	会員の交流拡大と活力に満ちた環境作り	1.会員の交流とパソコン相談の場の拡大とサロニックな環境作り 2.土日など休日を利用して、勤労者を対象にしたパソコン教室の検討 3.俳句の会、デジカメの会、パソコンを楽しむ会、パソコン技術交流会の継続と各WGへの参加者の拡大
4	業務の見直し、合理化、省力化と基本の遵守	1.高齢化に対応した事務所管理業務、事務所当番の役割などの改善 2.新規入会会員のパソコン入門講座の進め方、担当講師の検討 3.経費節減による収益の確保 4.業務の基本及び社会的なルールやマナーの遵守、作業の安全確認、出退勤時の交通事故防止

ICT=Information & Communication Technology (情報通信技術)

AI=Artificial Intelligence(人工知能)

IoT=Internet of Things(モノのインターネット)

※ 平成 30 年度予算規模は別紙に提案致します。(予算規模別紙)